

令和7年度
佐世保市学校体育館等におけるスマートロック
及び施設予約システムの導入業務
業務仕様書

令和7年7月
佐世保市教育委員会
教育総務部 教育施設課

1 業務名称

学校体育館等におけるスマートロック及び施設予約システムの導入業務

2 業務の趣旨

本業務は、佐世保市立学校の施設予約における更なる市民サービスの向上及び窓口業務の軽減、並びに公共施設の利用促進を図るため、物理鍵がなくても暗証番号等で開錠可能な電子錠とその管理システムの設置・導入及びインターネット上で利用手続きが完結可能な施設予約システムを構築・導入することを目的とする。

3 契約期間

契約締結日から令和8年2月27日まで

4 稼働開始予定日

令和8年3月1日

5 業務概要

本業務の概要は以下の通りとする

- (1) 施設予約システム導入に係る作業（システム環境の構築、スマートロックシステムとの連携機能構築、運用テスト、操作研修及びマニュアル作成等）
- (2) スマートロック導入に係る作業（システム環境の構築、現場での鍵設置作業、運用テスト、インターネット環境整備、操作研修及びマニュアル作成等）
- (3) クラウド方式による施設予約システム及びスマートロックシステムの提供

※システム導入後の運用及び保守に関しては別途契約を締結する。

6 調達コストの目安

今回の提案評価におけるコストの目安は以下のとおりとし、この条件に該当しない場合は評価を行わないので留意すること。

内容	コストの目安
施設予約システム及びスマートロックシステム導入経費	26,774千円以内 (消費税及び地方消費税を含む)
施設予約システム及びスマートロックシステムの利用料等に伴うライフサイクル経費	33,165千円(消費税及び地方消費税を含む) ／60ヵ月(5年間)以内 【年間6,633千円(消費税及び地方消費税を含む)以内】※運用費用については、運用開始日以降の60ヵ月を記載することとし、別途契約す

	<p>る際は、本提案における見積金額を超えてはならない。</p> <p>ただし、社会情勢等の影響により運用費用が変更となる場合は、本市からの承認を得た上で変更できるものとする。</p>
--	--

7 記載外事項・疑義

- (1) 仕様書に記載のない事項は、佐世保市と受託者が協議し決定の上、対応する。
- (2) 仕様書の記載内容に疑義が生じた場合は、佐世保市と受託者が協議し決定の上、対応する。

8 システム要件

(1) 基本事項

- ア 佐世保市の OS、ブラウザの利用状況に合わせ、必要となるソフトウェアのバージョンアップは、受託者の負担において行うこと。
- イ 最新の OS、ブラウザに対応すること。
- ウ 対象施設及び設備等の変更等の各種操作が、プログラミング等の専門知識を必要とせず、本市で実施できること。

(2) 環境要件

- ア クラウド方式のため、本市にはサーバー等の設置を必要とせず、クラウドは情報の機密性に応じたセキュリティレベルが確保されているサービスを利用すること。
- イ データの機密性、完全性、可用性が十分に確保された運用がされていること。
- ウ 暗号化等のセキュリティ対策を万全に行うこと。
- エ 特別なソフトウェアを必要とせず、ブラウザから本システムにアクセスすることで、予約状況の閲覧及び施設予約ができること。
- オ 本業務に用いるデータセンターは、以下の要件を満たすこと。
 - ①日本国内に立地していること。
 - ②地震や水害、火災に対する対策を講じること。
 - ③データセンターに雷が直撃した場合を想定した対策を講じること。
 - ④データセンター付近に誘導雷が発生した場合を想定した対策を講じること。
 - ⑤クラウドサービスの提供に用いるサーバーやストレージ、情報セキュリティ対策機器等の情報システム（以下、システム）を設置する場所には、停電や電力障害が生じた場合に電源を確保するための対策を講じること。
 - ⑥システムを設置する場所には、機器等の発熱による室温の上昇を抑えるために、十分な容量の空調を提供すること。

- ⑦システムを設置する場所には、火災検知・通報システム及び消火設備を備えること。
- ⑧システムに対する火災時の消火対策を講じること。
- ⑨システムに対する静電気対策を講じること。
- ⑩重要な物理的セキュリティ境界（カード制御による出入口、有人の受付等）に対し、個人認証システムを用いて、従業員及び出入りを許可された外部組織等に対する入退室記録を作成し、1 カ月間以上保存すること。
- ⑪重要な物理的セキュリティ境界に対して監視カメラを設置し、その稼働時間と監視範囲を定めて監視を行うこと。また、監視カメラの映像を1 カ月間以上保存すること。
- ⑫重要な物理的セキュリティ境界からの入退室等を管理するための手順書を作成すること。
- ⑬重要な物理的セキュリティ境界の出入口に破壊対策ドアを設置すること。
- ⑭重要な物理的セキュリティ境界に警備員を常駐すること。
- ⑮システムを設置する場所への入退室に強固な認証を用いること。
- ⑯サーバラックの施錠管理を行うこと。

（３）前提要件

- ア データ移行作業は発生しない。
- イ システムを利用する職員（アカウント）数は約 100 名を想定している。

（４）機能要件

- ア システム等に関する機能要件は、機能要件確認表（別紙 6）のとおりとする。
それぞれの項目について、「対応」を機能要件表に記載する基準を参考の上、◎、○、△、×で記載すること。「対応」は本システム本稼働時点での状況を記載すること。
- イ OS、ブラウザの動作環境については、以下のとおりとする。

利用端末	P C 環境	スマートフォン環境
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows10 以降 ・ Mac OS 14 以降 	<ul style="list-style-type: none"> ・ iOS ・ Android OS
ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge ・ Google Chrome ・ Safari 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge ・ Google Chrome ・ Safari

（５）対象施設

- ア スマートロック設置施設及び施設予約システムの対象施設は資料 1、扉の写真は資料 2、各学校の配置図及び体育館等の平面図は資料 3 の通りとする。
なお、資料 1 の内「No.1 5 潮見小学校」、「No.1 6 白南風小学校」、「No.2 6 日

野小学校」、「No. 2 9 相浦西小学校」、「No. 5 5 清水中学校」、「No. 5 8 日野中学校」、「No. 6 9 黒島小中学校」、「No. 7 0 浅子小中学校」については令和 6 年度に実証実験で使用したスマートロック（製造元：株式会社ウエスト、製品名：E06s）が設置されており、導入する鍵管理システムとの連携が行える場合は既存のスマートロックを流用可とする。

イ 資料 2 及び資料 3 で指定している扉へスマートロックの設置が困難な場合は、本市と相談のうえ同施設にある別の扉へ設置することとする。

ただし、同施設内の扉全てでスマートロックの設置が困難な場合は、受託者と協議調整を行い、本市による扉の改造や交換、受託者が設置するスマートロックのタイプ変更等について本市が判断する。

ウ 各施設に整備するインターネット環境は、通信回線の開通工事が不要な Wi-Fi ルーターの設置とする。

なお、設置するルーターは 100V コンセントから給電可能な製品とする。ただし、バッテリー内蔵型の製品は不可とする。

（6）周知広報活動に関する支援

スマートロック及び施設予約システムの導入に関して、本市が施設利用者へ周知広報を行う際に支援を行うこと。

支援の内容は、施設利用者向け操作説明書の作成及びその他周知広報手段の提案とする。なお、その他周知広報手段の具体的な内容は、企画提案協議の中で提案を行うこと。

9 システム構築

受託者は、システムの導入にあたり、本稼働前に以下の作業を実施するものとする。

（1）要件・仕様打合せ及び整理

システム設定の基準を本市に説明し、設定条件を決定する。

（2）マスターデータの登録

システムを使用する上で必要な施設に関する情報（貸出時間割、休館日、備品）や施設の種類、減免の種類等についてシステムに登録する。

（3）動作確認・運用テスト

システムを利用する機器上でシステムが問題なく動作することを確認する。本市が動作確認や検証等をした際に生じた問題点・疑問点についての説明やシステム改修等の対応を行う。

（4）施設管理者等への操作説明

システムを利用する施設管理者等に対し、操作説明会を実施する。

10 運用及び保守要件

- (1) 本システムは24時間365日稼働するものとする。ただし、システムのメンテナンス等を実施する場合はこの限りではない。
- (2) システムのメンテナンスを実施するために一時的にシステムを停止する際は、事前に本市に対して通知すること。
- (3) 必要に応じて操作方法及び障害等に関する本市からの問合せに関する回答を行うこと。
- (4) サービス品質に対して、契約後、別途協議のうえ、品質保証値を定めるものとする。また、項目について、モニタリング報告書（月次）とSLAに係る実績報告書（3月末）を作成し、本市へ報告すること。なお、実績値が保証値を下回る結果となった場合、保証値を達成できなかった理由及び今後の改善策を提出すること。

11 セキュリティ要件

- (1) 受託者は、次に掲げる情報セキュリティに関する関係諸規定を遵守すること。
 - ①個人情報保護法、佐世保市個人情報保護法施行条例
 - ②佐世保市情報セキュリティポリシー
 - ③佐世保市情報資産取扱要綱
- (2) 受託者は、業務上知り得た情報を他へ漏らさないこと。このことは、本業務が完了し、又は解除された後においても同様とする。
- (3) 受託者は、別記1「個人情報及び業務情報の取り扱いに関する特記事項」を遵守すること。
- (4) 受託者は、別記2「情報セキュリティに関する特記事項」を遵守すること。

12 その他

(1) 成果物

この業務の成果物を以下に記載する。なお、この業務の受託者が想定する納品物において、確認すべき事項がある場合は、事前に協議すること。納品物は、本市の検査に合格した時をもって引渡しを完了したものとする。

ア ソフトウェア成果物

以下のシステムはサービスの稼働確認をもって納品とする。

- ①スマートロック管理システム
- ②施設予約システム

イ 納品書類

以下の書類を電子媒体で納品すること。なお、納品方法については別途協議を行い決定する。

- ①業務完了報告書
- ②機能要件一覧
- ③システム管理者向け操作説明書
- ④施設管理者向け操作説明書
- ⑤施設利用者向け操作説明書

ウ 納品物

以下の納品物を指定する施設に指定する個数分設置すること。ただし、①については一部施設に設置されている8台分を再利用可としていることから、再利用を行った台数を差し引いた台数を納品すること。

- ①スマートロック 74台
- ②Wi-Fiルーター 74台

(2) 契約不適合責任

成果品の納入後1年を保証期間とし、保証期間内に品質基準を満たしていないことが判明した場合には、受託者の責任において関連する項目を再検査し、不良個所の修補等の必要な措置を講じなければならない。これにかかる費用は受託者の負担とする。

なお、成果品の不適合が本市の指示により生じたものであるときは、本規定を適用しないものとする。ただし、本市の指示が不相当であることを受託者が指摘しなかったときは、本規定を適用するものとする。

(3) 支払

支払については、請求書による一括払とし、受託者の業務完了報告に基づいて検査を実施し、その検査に合格した後、受託者が提出する請求書により、契約金額を支払う。

(4) 情報提供

市が施設予約管理システムやスマートロックシステム等に関して、情報提供を求めた場合はこれに応じること。ただし、その情報が受託者の不利益になる場合は市と受託者が協議する。

(5) 現地調査

見積書作成のため、現地調査が必要な場合は、事前に本市に相談すること。

(6) 事故報告

業務に際し、発生した不具合・事故等については、速やかに本市へ連絡を行い、指示を仰ぐこと。